

診療で用いられる放射線について

あなたが受けられる検査では、病気やけがの正しい診断を行い、次の治療に役立てるために放射線を使用します。

当院では、厚生労働省のガイドラインに従って「診療用放射線の安全管理にかか
る体制」を整え、検査を受けることによる利益が不利益を上回ることを検討の上、その
必要性があると主治医が判断した場合に行っております。

また、診療放射線技師が最適化（「診断参考レベル」と呼ばれる適正とされる放射
線量がありますが、合理的に達成可能な限りのより少ない量を検討）した放射線量で
検査します。

学会推奨の「診断参考レベル」と当院との比較表（成人体重 50～60kg）

検査種別	検査部位	診断参考レベル(mGy)	当院の値(mGy)
エックス線 CT	頭部	85	40
	胸部	15	10
	腹部～骨盤	20	15
核医学検査	医療放射線に関連した学会・団体により定められた適正投与量に 準じて、投与量を決定しています。 特に小児に関しては体重により投与量を調整し、被ばく線量の低減 に務めています。		

必要と判断された放射線を用いる検査に対し、診断画像の質を維持しつつ、
放射線低減に取り組んでおりますので、安心して検査を受けていただけます。

独立行政法人地域医療機能推進機構 中京病院
医療放射線安全管理委員会